

市を巡って見つけたホットな話題を
カメラで追ってみました。

Camera Report

カメラリポート



▲講演をする飯舘村長菅野さん

また、「地域産業おこしに燃える人」の称号をもつローカルファースト研究所長関幸子さん（元三鷹市役所職員）の講演や、関さんと地元の農家の方、JAの職員とのパネルディスカッションが行われ、津波の塩害や現在の農家が抱えているTPP問題や後継者不足、耕作放棄地などについて意見を交わしました。主催：山武市農業共同参画推進会、地域再生協議会

▲農業関係者との意見交換

地域づくりの基本は「までき」 飯舘村の村長さんがやってくる

飯舘村（福島県）の菅野典雄村長を講師として招き、地域を活性化させる取り組みや東日本大震災、原発事故からの復興の取り組みについてお話を聴きました。

菅野さんの地域づくりの基本は、「までき」。「までき」（真て手）は、左右そろった手、丁寧、大切に、もったいないなどの意味があり、広がりがあり深みのあるこの言葉を根底におき「まできライフ」を進めてきました。次の世代に残していくためにも大きな考えを持って、いい日本、尊敬される日本を作っていかなければならないと訴えました。

地元の資源を活かし地域再生 山武キコリ育成講座

地域再生協議会主催の山武キコリ育成講座（チェーンソー作業従事者資格取得講座）が、1月28日・29日に開催されました。

この企画は、震災後、ボランティアで東北へ行ったとき、流木の撤去作業などチェーンソー作業従事の資格が無いため作業できなかった苦い経験から、地域再生協議会のメンバーの発案で実施に至りました。

参加者は座学と実技を受講。実技においてはNPO法人さんむ環連協とNPO法人元気森守隊の協力のもと、実際の森林整備ボランティア活動に携わりながら技術を習得しました。



▲講師による木の伐採演習

婦人会敬老慰安会



山武市婦人会による敬老慰安会が、のぎくプラザで開催されました。会員による歌や踊りの披露に、会場からは拍手と歓声があがり、和やかな雰囲気に包まれていました。（2月9日）

地域SNSを活用した 防災情報発信と訓練



姫路市の和崎宏さん、掛川市の早瀬公夫さんに、地域SNSを使った市民と行政が連携して行う防災訓練についてお話を伺いました。（1月21日）

ノーマライゼーション講座



誰もが普通に暮らせる社会の実現を目指すノーマライゼーション講座が、松尾ふれあい館で開催され、パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」を楽しみました。（2月4日）